

第 140 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2023 年 12 月 6 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 12名

3 会議内容

<新規提案>

（1）ことば蔵の絵本で楽しむわらべうたあそび

【概要】

・ことば蔵にあるわらべうた絵本を紹介して、実際にみんなでわらべうたあそびを体験するイベントを開催したい。親子や家族だけでなく、地域の人とも出会いふれあうことを楽しむイベントにしたい。

・11月開催のお手玉あそびの会では対象年齢を設けなかったが、今回は未就学児とその保護者を対象にしてみようと思う。

【意見】

・できるだけたくさんの人に来ていただくために、対象は限定させすぎないほうがいいのではないか。内容が未就学児向けであることをしっかり告知していれば、対象を縛らなくていいと思う。

・昨今長いタイトルが流行っているらしい。タイトルでイベント内容をすべて説明してしまうのはどうか。

・11月に開催したお手玉のイベントの対象年齢「0歳から100歳までどなたでも」が素敵に感じた。今回の発案では未就学児を対象を限定しているが、参加だけならどなたでもできるのではないか。

→0歳と小学生ではあそびの内容が全然違う。幅広い年代の方々が参加された場合、紹介するわらべうたを決めるのが難しくなる。告知での伝え方を工夫したい。

・11月開催のイベントで使用した動物のお手玉をチラシに入れるのはどうか。

（2）ポップアップジオラマ

【概要】

・あまり外出することがない高齢者が外に出るきっかけづくりとして、フィギュア台を手作りするイベントを開催したい。

・参加者には家にあるフィギュアを持参してもらおう。イベントではカラーの紙粘土を丸めてフ

イギョアに合う形の台にする。

・フィギョアが家がない人や、ことば蔵まで持ってこられない人には、フィギョアをプレゼントする。プレゼントするフィギョアや紙粘土などの道具はこちらで用意する。

【意見】

・ジオラマとはどういうものなのか。

→情景をつくることをジオラマという。いきなりジオラマを作るのは大変なため、手軽にできるフィギョア台をゴールに設定した。意欲のある方には、ジオラマの作り方を教えることはできる。

・完成したフィギョアの写真を撮影するための背景写真などを用意してはどうか。

→写真でなくても、糸やビニールなどを使って簡単な情景を作ることにはできる。フィギョア台を作った後のイベントについてもいただいた意見を参考に考えてみたい。

・紙粘土はどれくらいで乾くのか。固まる前に持って帰ると、せっかく作ったフィギョア台が壊れてしまうかもしれない。

→完全に固まるまで1日はかかる。完成したフィギョア台を、紙粘土が固まるまで図書館で預かってもらい、後日受け取りにきてもらうのはどうか。

・チラシを見た人がどんなものを作るのか想像しやすいように、作例の写真を掲載した方がいいと思う。

・ジオラマづくりのガチ勢が参加された場合はどうするのか。ジオラマという言葉にこだわりがないのであれば、他の言葉にした方が無難かもしれない。

→ジオラマはタイトルをキャッチーにするために入れたもので、特にこだわりはない。タイトルを考え直してみる。

(3) お琴で弾こう！「きらきら星」

【概要】

・小学生くらいの子どもを対象に、琴に触ってみるイベントを開催したい。

・手軽なきらきら星を琴で演奏することを目指す。意欲のある子や、高学年の子には、もう少し難易度の高い楽曲に挑戦してもらおう。漢数字で書かれた実際の楽譜も読んでもらおうと思う。

・誰でも演奏ができるように、どこをはじけばいいのかわかる目印を弦の後ろに置く。目印の場所を順番にはじくだけなので、小さい子でもきらきら星をひけるはず。

・自由に触ってもらう形式にするか、30分ごとに交代してもらう形式にするか検討中。

・開催は6月の土日を考えている。音出しイベントは図書整理日である第一木曜日から、図書整理期間のある6月しか開催できず、今回のイベントは子どもたちが参加しやすいように土日に開催したため。

【意見】

・琴は高価な印象が強いため、子どもが触って壊してしまわないか心配される保護者が多いかもしれない。もしも本当に壊れてしまったらどうするのか。

→イベントに持ってくる予定の琴は、練習用にしか使わなくなった古いものなので心配は不要。

・4月の第一木曜日であれば、春休み中なので平日でも子どもは集めやすい。6月まで待つのはもったいないと思う。

→例年4月の第一木曜日は「ことば蔵で風流を」を開催している。開演は午後からなので、午前に琴イベントを開催してはどうか。邦楽繋がりでいいと思う。

・大人でも琴を演奏してみたい。参加は子どもだけなのか。

→子ども向けで考えていたが、このような要望が多いのであれば大人にも参加いただけるイベントも検討したい。

・宮ノ前通りにある水野楽器店は琴も取り扱っている。歴史のあるお店なので、店主に講演していただくなどのコラボをすれば、大人もたくさん来られると思う。

<イベント報告>

(1) ことば蔵で風流を

参加者は35人。今回で22回目を迎え、11年目に突入。尺八や琴による邦楽の演奏、歴史小説の朗読会、民謡の披露など盛りだくさんの演目だった。また、テレビ局の取材も入った。

(2) いたみ文芸ことそうし

参加者は4人。自作の文章を持ち寄って披露があった。新しいメンバーも募集中なので、文章を書くことに興味のある人は気軽に参加してほしい。次回は1月13日13時から。

(3) カエボン部

参加者は3人。テーマ「いちご」に関する本で話し合った。また、カエボン棚の新着本を置く場所が南フロア側に引っ越してきたことで、より多くの人に見てもらえるようになったと思う。次回のテーマは「今年読んだベスト本」で、12月20日18時30分から開催。

(4) 漫画を語ろう

参加者は4人。テーマ「なかよしな漫画」で語り合った。新聞で同イベントが紹介されたことを市長が知っていたことに驚いた。次回は12月27日18時30分から、テーマは「冬に読みたい漫画」で開催。

(5) わらべうたあそびの会～お手玉（おじゃみ）であそんでみよう～

参加者は14人。午後の開催だったからか、未就学児の参加よりも小学生の参加者が多かった。お手玉の紹介をした後、お手玉を使ったわらべうた遊びを楽しんだ。イベントの様子を通りすがりに見られた親子が、そのまま引き寄せられるようにして参加してくれたのが嬉しかった。

(6) 知的書評合戦ビブリオバトル

参加者は10人。テーマはなし。生駒市で開催されるビブリオバトル全国大会の予選会を兼ねた特別回だった。昨年の全国大会で2位を獲得された方が、今年はことば蔵代表として出場されることになった。

4 次回の運営会議 2024年1月10日(水) 18:30~ ことば蔵1階 交流フロア